

## 1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input checked="" type="checkbox"/> 国際理解	<input checked="" type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「友達と学び合う」「心豊かでたくましい子供」の育成を学校理念として、ESDを「地域こことから課題を見出し、それらを解決するために必要な資質・能力を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う学習」として捉え、学校教育活動を行っている。

具体的には、環境教育、福祉教育を柱に、身近な昆虫や小動物・樹木についての学習、地域の川について調べる学習を行った。



地域の身近な川で調査している様子（5年生）

## 3 特徴的な活動事例の紹介

### ○ 身近な環境や地域の自然環境についての学習

2年生では、「生きものはっけん（生活科）」の学習において、水に棲む生き物の採集を行った。網を持って、水位を低くしたプールにひそむヤゴやアメンボなどを見つけたり捕まえたりした。教室でヤゴを一人一匹ずつ観察し、その身体のつくりや大きさ等を絵と文章でカードにまとめた。

3年生では、「めざせ生き物博士（総合的な学習の時間）」の学習において、ゲストティーチャーを招き、植物の種類や特徴など、植物の様子を教えていただいた。校庭にある木が40年ぐらいの年月で大きくなっていることから、驚きの声が上がリ、木の年齢の見分け方や大きくなる木とならない木の



ヤゴを観察している様子（2年生）

違いなど、植物の特性について、たくさん質問しながら記録に残し、学ぶことができた。そして、調べたことを発見カードにまとめ、生き物図鑑を作り、発信した。

4年生では、「季節と生物（理科）」の学習において、ツルレイシの様子を観察するとともに、1階の花壇から2階のベランダの手すりに園芸用ネットを張り、グリーンカーテンづくりにも取り組んだ。毎日水やりをしていると、だんだんつるは伸び、葉は茂り、ネットの下に日陰ができるようになった。ツルレイシによってできた日陰を体験することで、子供たちもグリーンカーテンの効果を感じることができた。

5年生では、「豊かな自然を守ろう（総合的な学習の時間）」の学習において、地域の自然環境を考えるために、川を題材に学習を進めた。ゲストティーチャーを招き、川の環境について現在の生活との関連など、多面的に調査を行ったり、実際に堂面川や諫早青少年自然の家近くの川を探検し、水生生物の観察や水の透視度による水質調査を行ったりするなど、川の環境を調査した。自分たちの生活が近くの川や自然に影響を与えるだけでなく、それが海の環境、そして世界の環境にもつながっていることに気付くことができた。このような学習を通して、地域の環境を自分事として捉え、環境保護・改善に向けて自分にできることを考えることができた。

このように羽山台小学校では、学校の周りの自然環境を題材に、複数年を通して環境教育を行っている。これらの学びの過程は、SDG14「海の豊かさを守ろう」、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に通じるといえる。



樹木教室の様子（3年生）



川探検の様子（5年生）

### 3 今後の活動計画

令和6年度は、さらに環境教育、福祉教育を柱とした体験活動や探究活動を充実させていく。そのために、以下の4点について改善していく。

- 1 横断的・総合的なESDの実施を通じた、PDCAサイクルの改善。
- 2 本校における世界遺産・文化財教育により育成する資質・能力の明確化。
- 3 地域の「ひと・もの・こと」を最大限に活用できるための連絡・調整の在り方の検討。
4. 目的・内容・方法を明確化した、体験活動や協働学習の促進。